工大広報

2019年12月2日発行(年4回発行)

No.295

Autumn 2019 2019年12月2日発行 (年 4 回発行)



学長と話そう

普段あまり話をする機会がない学長と学生たちが、学長室で近況報告や意見交換を 行う座談会を開催。第三回は、「学業の取り組み方」について学科、学年を超えた 学生4名に集まってもらいました。



目指している進路、普段のライフスタイル、興味のある分野…。今回の座談会メンバーは、学科や学年だけでなくさまざまな面で多種多様。共通点 は、東北工業大学の一員であることだけ。そんな4人と学長がお互いに聞きたいことを、包み隠さず語り合いました。

学習の悩みや課題

遠藤さん 学会などで研究発表をす る機会が多くなってきたんですが、 論文を作成するときに要約を英語 で書くことが増えてきています。ま た、研究を進めるなかで英語の論文 を読む機会も多いため、やはり英語 の学習が一番の課題かなと感じてい ます。例えば技術系の論文をどう読



み解いていけばいいのか、そこが悩みですね。

加藤さん 同じことを思っていました。私ももうすぐ学会 を控えていて、所属している研究室の先生からも「英語で 論文を読むように」と言われているので、自分の研究内容 と同様に英語は勉強しなければいけないなと。

長沼さん 私の場合、悩みとはちょっと違うかもしれない んですが、1年生の頃は「4年間って結構時間があるな」と 思って、ダラダラ勉強することが多かったんです。でも2 年生になってからは時間がもったいないと感じて、時間を 有効に活用することを意識するようになりました。

学長 4年間というのはたつぶり時間があるようで、実は 短いですからね。そこに気づけたこと、そして意識的に時 間を有効活用しようという心構えはとても素晴らしいと思 いますよ。

山田さん 皆さん、すごいなと思って話を聞いていまし た。私の学科は幅広く学べることもあり、自分が何をした いのか悩むこともあります。建築も楽しかつたり、福祉や コミュニティも興味深かったり、どれに本腰を入れようか 絞り切れていないというか。

遠藤さん まだ2年生ですし、焦ってひとつの分野に絞る必 要はないんじゃないですか。いろいろな分野の学習を進め ていつて、自ずと定まっていくこともありますし。多分野 は意外とひとつのことにつながっていることもあるので。

学長 いいアドバイスですね。実は私も4年生の卒業間近 まで何をすべきか定まらず、かなり悩んだ一人です。た だ、いずれ道筋を決めなければいけない時期は必ず来ま す。遠藤さんや加藤さんのように、すでに研究を始めてい るという人はテーマが見つかったということですが、見つ からないからといって焦ることはありません。今は視野を 狭めすぎず、さまざまな学習と経験を積んでほしいです ね。そのなかで自分の進む道が見えてくると思います。

課外活動などとの両立

山田さん 課外活動はすごく勉強になります。実は現在バ ドミントン部にも所属していて、そちらの活動にも結構力 を入れているんです。その分、通学時の電車内でテキスト を読んだりしながら、学業と両立できるようにしていま す。往復で電車に乗っている時間が約3時間もあるので、

無駄にしたくないなって。

長沼さん 私も高校時代は野球部 で。怪我をしてしまったんですが、 大学に入ってからも何か運動を続け たいと思い、トレーニング部に入り

山田さん トレーニング部ってどん な活動をしているんですか?

長沼さん 文字のとおりですが、自 分で計画を立てて、体を自己管理し





ていくというか。工大はウェイト器 具なども充実していますし、坂が多 いのでランニングには最適ですよ。 もちろん学習も計画的にやるように していますが。

加藤さん 計画を立てるのは大事で すよね。アルバイトを入れるにして も、私は長期間の予定を先に立てて おかないと自分が潰れてしまう性格 なので。夏休み期間中などはアルバ

イトもしっかりしつつ、学習に充てる時間を確保するため に予備の日を設けたりしています。

遠藤さん アルバイト、私もしています。プログラミング とデータ解析の仕事なんですが、アルバイトをするなら大 学の学習とつながることを意識したいと思って。

加藤さん参考になります。ちなみに学長は学習以外で学 生時代にどんなことに取り組んでいたんですか?

学長 聞きたいですか?

全員 ぜひ!

学長 私も体を動かすのが好きで、入学した年にできたば かりの弓道部に入って4年間打ち込みましたね。2年前に 弓道部はちょうど創部50周年を迎えましたよ。

加藤さん そうだったんですね。

学長 部活動は技術を磨くだけではなく、学科・学年を超 えて交流ができますし、共に苦労したり、喜びを分かち 合ったりする経験も大事ですから、そうした環境もしつか り整えていきたいと思っています。それからアルバイト も、自分の学習に関連づけられると将来にもつながります し、3年生になればインターンシップもあるので、そちら で仕事を疑似体験することも大事ですね。

施設や学習環境への要望

学長 ところで皆さんは本学の学習環境については良い 面、改善面も含めてどう感じていますか。

遠藤さん 希望になりますが、私の場合、図書館で勉強す ると集中できるんですが、18時で閉館してしまうので、 できれば20時くらいまで使えるといいなと。

加藤さん 分かります。私も一人で集中して勉強したい派 なので、図書館の件は同意見です。

学長 その要望は学長直行便でも頻繁にあります。維持管 理の課題もあるため、いまここで「分かりました」と答え は出せませんが。ただ4年生になると、届出があれば研究 室は例外なく21時30分まで使えますので、そちらのシス テムもぜひ活用してもらいたいですね。土日や夏休み期間 中でも大丈夫ですからね。

加藤さん もちろん感謝している面もたくさんあって。就 職活動か大学院進学を迷っていた時期があったんですが、 工大は講座など就職活動のサポートも手厚かったり、研究 室の先生に大学院進学について相談をしたときも「それな らこういうことが必要だよ」と的確なアドバイスをいただ けました。どちらに進むにしても親身になってくれるし、 頼れるなと。

長沼さん 先生方は本当に頼りになりますよね。学習で疑 問があったらすぐに解消したいので、積極的に先生に聞き にいくようにしていますが、一つ一つの質問に丁寧に回答 してくれるので、すごく安心できます。

山田さん 私は八木山など高齢化が進んでいる地域での課

外活動にも参加しているんですが、そのときに思うのは、 先生方はしつかり自分のフィールドを持っているんだなと いうこと。すごく地域に根ざしていて、尊敬するところが たくさんあります。そうした先生方にさまざまなことを教 えていただけるのはありがたいです。

今後の目標

加藤さん 先生方はネットワークも広く、太いですよね。 いろいろ考えた結果、私は大学院への進学を希望している んですが、研究室の先生の計らいで企業で研修しながら研 究の進め方やノウハウを学ばせていただけることになりま した。先を見据えて大学での研究と企業での研究、どちら もしつかり取り組んでくことが直近の目標です。間近に控 えている学会と、その後に待っている論文の執筆もなんと かしなければいけませんが。

遠藤さん 私の場合、まずは卒業研究を終わらせること。 卒業後は他大学の大学院への進学が決まっていて、しかも 研究分野が変わるので、それまでに知識を深め、足りない 技術を伸ばしていきたいと思います。

長沼さん 就職は選択肢にはなかったんですか?

遠藤さん 1年生の頃はそう思っていたんですが、興味を 持っていたのが人工知能の分野で、どうやら修士の学位ま で必要だということが分かって。いまは研究が面白いの で、そちらの方面に進みたいと思うようになりましたね。

山田さん 率直な疑問なんですが、工大の大学院は考えな かつたんですか?

遠藤さん 興味がある分野をより突き詰めていこうと思っ たとき、違う環境に身を置いて見えてくること、身につく こともあるのかなと。

学長 勉学意欲に燃えている人は、それもひとつの選択肢 だと思います。希望を言えば優秀な研究者になって、いつ か本学に戻ってきてほしいというのが本心ですが。

長沼さん 私は国家公務員や県庁職員など、公務員志望で す。すでにそのための勉強を始めていて、来年の試験を しっかりクリアできるようにしたいです。

山田さん まだ目標は定まっていな いんですが、地域をどのようにして いくかという課外活動に、学生およ び「よそ者」という立場で関わって います。そこで学んだことを地元の 福島のために役立てたいと思ってい ます。いまでも福島は原発事故の避 難者が多くて大変なので、どう還元 できるかを考えながら地域活動にも 積極的に取り組んでいきたいです。



学長 皆さん、しつかり目標を掲げて学習や多彩な活動に 取り組んでいること、とてもうれしく思います。大学院に 進んで研究者の道を歩むもよし、公務員を目指すことも応 援しますし、地元のために自分の力を役立てようという情 熱も素晴らしい。その中で私からひとつ、在学中に特に大 事にしてもらいたいことは、研修活動に力を入れること。 皆さんも知つているかと思いますが、本学では研修を卒業 条件にしています。研修はポテンシャルを高め、自分を大 きく成長させるチャンスですので、ぜひ積極的な姿勢で取 り組んでほしいですね。

第44回 工大祭

日時:令和元年10月12日(土)

会場:八木山キャンパス

令和元年の工大祭テーマは 「おかわり!」。新しい元号を迎え初 の工大祭ということで、来場してくれた方々に「また来たい」と思っ ていただけるような、質の高い工大祭を目指しました。

今年は台風19号の影響で、1日だけの開催となりましたが、悪天 候、時間の短縮、企画の一部変更にもかかわらず多くの方々にご来 場いただき、来年も「おかわり!」していただける工大祭とすること ができました。





工大祭について(報告) 第44回

本田 春彦

学生委員会副委員長 共通教育センター 准教授

第44回工大祭は、皆さまご存知のとおり台風19号による影響を 受け、10月12日の10時~12時30分、2時間半という短い時間での 開催となりました。ここ数年、5,000人を超える規模となっているこ とから、大学祭実行委員会ではおよそ半年間、相応の準備を進めて きました。同じ週に開催予定だった他大学の大学祭が中止となる中 で、実施に踏み切ったことへの様々なご意見があるかとは思います。 しかしながら、短い時間ではありますが実施し、無事に終了するこ とができたのも本学の大学祭実行委員会の熱意と参加された皆様 のおかげだと感謝しております。

自然の猛威にはかないませんが、今後の大学祭の運営において重 要な経験になったことは間違いありません。来年は、『おかわり!』 できなかった皆さまが、今年の『おかわり!』の分と合わせて2年分 楽しむことができるよう願っています。



第44回工大祭「おかわり!」を 振り返って

慎太郎

大学祭実行委員長 建築学科 3年

第44回工大祭は、「おかわり!」というテーマのもと、来場し た方々に「もう一回」と思っていただけるような、やみつきになる 工大祭にしたいと思いを込め、実行委員一同活動してきました。

また、今年は新しい元号を迎え初の工大祭ということで、変化 を恐れず様々な変革を起こしたいと思い、入念に準備してまいり

残念ながら当日は台風に見舞われ、準備してきた物の一部しか 披露することはできませんでしたが、今回の経験は来年度の工大 祭をより一層盛り上げるための礎となったと思っております。天 候が悪い中ご来場してくださった皆様、ご協力、ご支援していただ いた皆様に実行委員会一同、心より感謝申し上げます。ありがと うございました。

グルメ企画

大学祭実行副委員長 安全安心生活デザイン学科 3年

_{神たなべ} 渡部 ひらり

今年のグルメ企画 (エ 大グルメフェ スティバル 2019) は新た な学外出店者 を集めたり、



テーマと絡めた 「おかわりシステム」を導入したりと、変革を試みました。10団体の学外出店者にご協力をいただくことができましたが、当日は台風の影響で4団体のみの出店となりました。

しかし、美味しいグルメをたくさんの方に 食べていただいたことで、工大祭がとても良 いものとなりました。来年も今年以上に盛り 上がる工大祭にして欲しいと思います。

広報企画

広報企画長 経営コミュニケーション学科 3年

さとう ありさ 佐藤 **有紗**

今年度は、 多くの方にエ 大祭の存在を 知っていただ くため、需要 が高まってい

るInstagram・Twitterの使用を例年よりも活発にしました。Instagram広告も初めて活用し、若年層へのアタックも盛んに行いました。その他に、ラジオ・テレビ番組(伝言板デス!)への出演、仙台アーケードでのビラ配りなどを行い、工大祭を多くの方に知っていただけるよう、実行委員全員で協力して活動を行ってきました。工大祭当日は、台風の影響により時間短縮の開催となりましたが、ゆるキャラを招致し、子どもたちとのふれあいの時間を作り、盛り上げる事ができたと思

一般企画

一般企画長 安全安心生活デザイン学科 3年 たかはし はゃと **髙橋 隼士**



しようと準備をしました。

会場レイアウトも、一目見てわかるような変化をもたらそうと一新しましたが、台風の影響で実現することはできませんでした。ぜひ、今回のレイアウトを来年度に活かしてもらえればと思います。

当日は台風にも関わらず、たくさんの屋台・展示企画の方々に参加していただいたおかげで、多くのお客様に来ていただけました。2時間半という短い時間でしたが、令和最初の年にふさわしい工大祭ができたと思います。

パンフレット企画

パンフレット企画長 安全安心生活デザイン学科 3年 **佐々木 理子**

工大祭を周知する ポスターや、来場者に 配布するパンフレッ ト、広報企画と連携し てホームページの作 成をしました。

今年は来場者に活用してもらえるパンフレットづくりをコンセプトに作成し、持ち歩きがしやすいようした。 り、文字の多かったパリンマクリンマクトに作成し、持ち歩くといるといる。



り、文字の多かったパ り、文字の多かったパ ンフレットから写真を多くして、見で楽しいパ ンフレットを目指しました

ンフレットを目指しました。 また、新たな試みとして「工大祭テーマロゴ デザインの公募」を行い、多くの学生から応 募をいただけたこと、大変嬉しく思います。

大きな変更に伴い、教職員の方々や実行 委員会の仲間に助けてもらいながら無事完成することができました。本当にありがと うございました。

ステージ企画

ステージ企画長 建築学科 3年

います。

台風の影響 により、体育館 のテージを設し、ステージ 置し、ステージ 企画を実施し



伊藤

海翔

ました。 今年度は初の試みとして、オープニングセレモニーで学長・実行委員長が大型クラッカーを鳴らし、工大祭を盛大にスタートさせることができました。

当日は時間短縮のため、スケジュールが急 遽変更となりましたが、参加団体の皆さんが 臨機応変に対応してくださったおかげで、素 晴らしいステージ企画を実施することができ たと感じております。

今年の反省点を活かして、来年度の工大祭では今年以上に盛り上げてほしいと思います。

PT企画

プレイタイム企画長 クリエイティブデザイン学科 3年 ざとう けんた **後藤 健太**



工大祭に遊びの時間を提供します。今年は「ぷれい縁日」というテーマのもと、小規模の遊びに特化した縁日(お祭り)を設け、何度も「おかわり!」して楽しんでもらえるお祭り企画を目指しました。台風の中、2時間半という短い時間ではあったものの、多くの方々の笑顔を見る事が出来ました。来年以降は、今年の良かったところや改善点をしつかり踏まえ、毎年様々なカタチで遊びの時間を作ってもらいたいです。

祭飾企画

祭飾企画長

クリエイティブデザイン学科 3年



工大祭を華やかなものとする装飾や看板等を制作しました。 テーマ 「おかわり!」のロゴマークに、カラーやイメージを合わせ、 統一感があり今年ならではの装飾を考えました。また、今年度だ けでなく後輩たちが使い続けられるよう、新しく看板の制作も試 みました。それらの装飾が、来年度以降の後輩たちの支えになれ ばと願っております。

スポーツ企画

野外特別統括企画長 安全安心生活デザイン学科 3年

はら あかり **原 緋梨**



大学祭前日の11日 (金) にスポーツ大会を開催しました。 今年から、eスポーツ (大乱闘スマッシュブラザーズ) を新競技として加えました。予想を超える申し込みがあり、スポーツ大会当日も大盛り上がりで、来年も引き続き行いたいと思いました。

その他の競技は、雨天により、バレーボールとバスケットボール のみとなってしまいましたが、昨年よりも参加団体数が多く、会場 全体が活気に溢れていました。参加者全員が、怪我なく無事に終 えることができたことを嬉しく思います。たくさんのご参加ありが とうございました。

工学部

電気電子工学科

9号館で開 催されたミニ オープンキャ ンパスでは、 小学生対象の プログラミン



グ体験やロボットの実演がなされました。 また、テクノフォーラムでは医工学・バイオ 系の教員が各専門分野の動向について講 演しました。巨大台風接近のため屋台企画 は、急遽、食堂での開催となりました。悪天 候の中、企画を催した学生、教員の皆様、 お疲れ様でした。また、外出が困難な状況 にも関わらず御来場いただいた皆様、あり がとうございました。

工学部

情報通信工学科

情報通信工 学科では、5 つの研究室が 各々の特色を 生かし、光や インターネッ



ト・コミュニケーションに関する研究成果 の展示や、プログラミング・ペーパークラフ トの製作体験ブースなどを出展しました。 短い時間ではありましたが、多くの方々に ご来場いただきました。学科や大学院につ いて質問する高校生・学生やその保護者の 方々も多く来られており、本学科の学びの 魅力に触れていただくことができたと思い

工学部

建築学科

建築学科 ではワーク ショップと展 示を行いまし た。「colorsも のづくり体験



教室」は、台風接近の中での開催であった にも関わらず、子どもから大人までたくさん の人に参加していただき、会場はとても賑 わいました。県外からの参加者が多く、「こ のイベント目当てにきた」との言葉もいただ きました。「折り紙照明展」も、展示は短い 時間でしたが、来てくださった皆様、満足し て帰られたようで、展覧会を開けてよかっ たです。

工学部 都市マネジメント学科

今回、初め て大学祭で 出店をしまし た。私たちの 出店したお店 ではクレープ



をやりました。運営にまわってみて、人員確 保から始まり、実際にクレープを作ってみて 作る難しさや材料の調達など苦労する点が 多くありました。当日は苦労して用意した甲 斐もなく台風19号の影響により出店時間 と開催期間の短縮により予定した販売予定 数を売り切ることができませんでした。そ れでも短時間でも1日で予定していた販売 数の8割は売れたこともあり2日間営業で きなかったことが残念でした。

工学部 環境エネルギー学科

環境エネル ギー学科で は、佐藤善之 研究室による 超臨界流体を



企画、齋藤輝文研究室によるソーラー カーによる調理実演、次年度から始まる 環境応用化学科の学科紹介を予定してお りました。体験企画では、パルプの副生成 物から抽出したバニラの香り成分を体感 できたり、調理実演では焼き鳥や肉まん が無償で振る舞われたりと台風にも関わ らず子供から大人まで多くの方々に来場し て頂きました。

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科

学生のデザイ ンによる型を 使った「型染 ワークショツ プ」は、前日 までの入念な



準備により、参加者に好評でした。参加者 は学生スタッフのアドバイスを受けながら、 ハンカチに自分の好みの型を配置して、色 を選び、絵の具をのせ、来場の記念となる のハンカチを完成させました。学生がルー ルを考案し、ビジュアルデザインをした「遊 びのデザイン」は、学科の学びを来場者に 説明することに役立ちました。

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科

台風接近に 伴い2時間半 のみの開催 となりました が、多くの人 に足を運ん



で頂きました。各研究室のパネル展示、 視覚や聴覚に障がいのある方々の作品展 示、学科と結びつきの深い雄勝、登米、 秋保、津山の物産の展示販売に加え、卒 業制作でドライフラワーによるアクセサ リーの制作とそのマニュアルづくりに取 り組んでいる女子学生が、展示販売と体 験のコーナーを企画し、来場者が自分だ けのアクセサリーづくりに挑戦していま した。

ライフデザイン学部

経営コミュニケーション学科

経営コミュニ ケーション学 科では工大祭 [おかわり!] にちなみ、何 度も遊びに来



たくなるようなボードゲームカフェを開きま した。学生手作りのゴキブリポーカーやイ ンディアンポーカー、小さな子供も遊べる 勝ち残りゲーム、演技力と相手の心を読む 能力が必要な [はあ] と言うゲーム、語彙力 と質問力を養うインサイダーゲームなど、 4人から8人で遊べるものばかりでした。 台風のため2時間半という短い時間でした が、会場は明るい声に包まれていました。

共通教育センター・教職課程センター

共通教育セン ター・教職課 程センターで は、『ものしり クイズ大会』と 『これはびっ



くり液体窒素実験室』を開催しました。『も のしりクイズ大会』は昨年に引き続き, クイ ズ研究会とのコラボ企画の予定でしたが、 台風の影響でクイズ研究会のメンバーが揃 わず、やむなく中止にせざるを得ませんでし

『これはびつくり液体窒素実験室』はお そらく今年が最後の開催となる可能性が高 いのですが、参加者の皆さんはエジソンが 発明した白熱灯の原理をシャープペンシル を用いて体験するなど、とても興味を持って くださったようでした。来年は新企画を用 意して臨みたいと思います!



本田 春彦 学生委員会副委員長 共通教育センター 准教授

北海道科学大学との総合定期戦が8月27日(火)・28日(水)に開催されました。今年度は 初日のオープニングセレモニーおよびオープニングゲーム (バスケットボール) がゼビオアリーナ 仙台で実施され、映像や音によるとても質の高い演出を体感することができました。オープニ ングゲームを行ったバスケットボールの選手の皆さんは一生に残る思い出になったことと思い

そして、あきらめなければ最後まで何が起こるか分からない、というバスケットボールの試合 の余韻は、翌日の泉総合運動場へとつながり、各種目の各ゲームでとても見応えのある熱戦が 繰り広げられました。

年々、試合を終えた競技の選手が他の競技の応援をするという場面が増えてきていますが、 これも応援団長のが、龍太郎さんの熱血エールの効果が現れてきたのでしょう。総合成績も 年々勝ち星を増やし、2年前の1勝から昨年は3勝、そして今年は6勝をもぎとることができま した。昨年の11月から準強化指定部が創設され、これまで以上に練習の質と量を高めていく ことが各部に求められました。教務学生課への定期的な活動の報告あるいは面談なども行わ れ、選手もサポーターも一丸となって取り組んできた成果だと思います。

残念ながら、引き分け(6勝6敗)=遠征大学の勝利、という規定に基づき、総合優勝はなり ませんでしたが、来年にむけて『自分たちはやれる!』という自信を取り戻すことができたので はないでしょうか。来年は、女子バレーボールも競技に加わり、13種目になります。次こそは栄 冠を勝ち取りたいという気持ちで、選手たちの戦いは始まっています!サポーターの皆さん、 日々、戦う選手たちに声援をよろしくお願いします!



総合定期戦 渡邉 瑞希 課外活動連合委員会 事務局長 電気電子工学科 3年

今年の総合定期戦は仙台での開催 で、1日目はゼビオアリーナで開会式及 びバスケットボールのオープニングゲー ム、2日目は泉総合運動場で各競技の試 合が行われました**。**総合優勝こそ逃して しまいましたが、勝敗数は引き分けで来 年に期待が高まる結果となりました。

私は実行委員長として本大会に携わ りましたが、今年はとくに運営学生の団 結力が高く、多くの場面で助けられまし た。また大きなトラブルなく定期戦を終 えられたのは、両大学の関係者の皆様 のおかげです。総合定期戦の開催にあ たりご尽力くださいました全ての方に感 謝申し上げますと共に、次の定期戦がよ り良いものとなるよう邁進してまいりま す。



第34回総合 定期戦を終えて 小田島 本気 学部学生会

会長 建築学科3年

第34回総合定期戦は、仙台での開催 となり、ゼビオアリーナ仙台と泉総合運 動場で行われました。一時天候が乱れ ましたが、無事に大会を終えることができました。

総合定期戦の結果は、6対6の引き分 けでしたが、規約により本学は今年も 総合優勝を逃してしまいました。しか し、との競技も選手と応援者が一体と なり、勝利を目指す熱戦が繰り広げら れました。

また、両大学の選手が公式試合後に 交流戦を行う場面もあり、友好的な関係の一歩となったのではないかと思い ます。

最後になりますが、本大会運営にあ たりました関係者並びに選手の皆様に 最大限の感謝と御礼を添えて報告とい たします。

















第34回北海道科学大学·東北工業大学 総合定期戦結果報告

種目	東北工業	大学 対 北海道科学大学	学
サッカー	0	6 − 2 ●	
ソフトテニス		2 - 3 \odot	
硬式テニス	•	1 - 4 0	
バスケットボール		75-84 🔾	
剣道		2 - 4 0	
柔道	0	3 _(1 列分) 1 ●	
アメリカンフットボール	0	12− 7 ●	
バレーボール	0	3 - 0	
ハンドボール	•	20-27 🔾	
弓道	0	97-93	
バドミントン		1 - 4 0	
卓球	0	3 − 2 ●	

参加者教職員58名、指導者4名、

学生 443名 合計 505名

程 令和元年8月27日(火)·28日(水) Н

場 所 ゼビオアリーナ仙台、泉総合運動場、シェルコムせんだい

東北工業大学 6勝 果成

北海道科学大学 6勝

北海道科学大学 総合優勝

※引き分けの場合は規約により遠征大学の優勝



永戸 清華 東北工業大学 硬式野球部 主務 安全安心生活デザイン学科 2年

第45回千葉工業大学硬式野球部定期戦

千葉工業大学との第45回硬式野球部定期戦が、8月18 日(日)に本学長町キャンパス野球場にて行われました。 攻撃では初回から効果的に攻めました。6回には宮本 亮輔 (安全安心生活デザイン学科3年) と池崎 拓人 (安全安心





生活デザイン学科2年)の2ランホームランによって4点を奪うことに成功し、投手陣が粘り9回まで得点を許さず完封リ レーで、見事5-0で勝利しました。

試合後に開かれた懇談会では互いの秋季リーグ戦での活躍を誓い、親睦を深めました。

第45回千葉工業大学・ 東北工業大学定期戦(硬式野球)

程 令和元年8月18日(日) H 場 所 東北工業大学長町キャンパス 野球場

果 東北工業大学 5 一 0 千葉工業大学 結

参加者 菊地部長、目黒副部長、小幡監督

佐々木ヘッドコーチ、須藤コーチ、部員65名

◆【留学体験】アメリカ・セントトーマス大学の

学生プログラムに参加しました

アメリカ・テキサス州ヒューストン市にあるセントトーマス大学とは、2016年に本学が日本国際協力センターのKAKEHASHIプロジェクトで訪問して以来、交流を続けています。今回、その交流を深めるため、学生交流プログラムを開催し、本学学生たちにアメリカでの大学生活を体験してもらいました。本学からは共通教育センターのサイモン・クック准教授を引率として、学内選考から選ばれた学生4名が2019年8月25日~9月1日まで渡米しました。セントトーマス大学で学生は、授業聴講、英語での自己紹介および大学紹介のプレゼンテーション、日本語クラスでの授業補助などを体験。また、アメリカの大学生たちとの学生交流イベントもありました。学外研修では、NASA宇宙センターの視察、大リーグ野球の試合観戦などもありました。学生たちは、自身のもつ英語力を試すとともに、アメリカでの日常を満喫して帰ってきる場話を行い、相互にさらなる交流を深めていくことで合意しました。



ヒューストンに到着



セントトーマス大学のエバンズ副学長



NASA宇宙センターを見学



おりがみ出来上がりで記念撮影

◆【留学体験】タイ·泰日 工業大学のサマープログラム に参加しました

タイ国の泰日工業大学では、日本国内の大学生に参加募集をするサマープログラムを毎年開催しています。本学からは学生1名が8月29日~9月9日で参加しました。プログラムでは、大学での講義でタイの歴史やタイ語を習い、タイの学生さんの一般家庭へのホームステイの体験もありました。学外活動では、現地の日本企業に訪問して工場見学を行いました。小旅行では、シリラー病院博物館、暁の寺と呼ばれるワット・アルン寺院の見学や、マングローブ植林活動では、船で植林する川辺まで行き、泥んこになりながら作業を行って、終わった後の川遊びが楽しかったようです。盛りだくさんの12日間のプログラムでした。学生は初めての海外旅行で、生活の違いなどに驚きつつも異文化に触れ、他大学の学生やタイ学生との出会いもあり、刺激ある短期留学となりました。



キ7空組 平/ニア



企業訪問にて



ナイトショーを鑑賞



マングローブ植林に出発

◆台湾・玄奘大学から 学生11名らが本学に 来仙しました

2019年10月16日~18日に、協定校である台湾新竹市にある玄奘大学から、境外移地教学研修として、学生11名、引率教員2名が本学に来校しました。本学の敷地内に宿泊し、本学の国際交流・留学支援サークル(TICK)を中心とした学生達が自主的に玄奘大学の学生たちと交流を行いました。17日には、国際交流ワークショップ「台湾・玄奘大学×東北工業大学~国際交流報告会」を開催し、各々の大学から学生達が日本と台湾の生活の違いなどを発表し合いました。引率教員の池田辰彰先生、郭淑齢先生は、今野学長に表敬訪問され、今後の両大学のさらなる交流について活発な意見交換がなされました。



左から郭淑齡先生、今野弘学長、池田辰彰先生



先生 合宿室で学生だけの交流会



ワークショップでの様子



終了後に記念撮影

地域防災をミクロ・マクロの視点で考える

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 畠山 雄豪 研究室(HATAKEYAMA Yugo Laboratory)

本研究室では、「地域防災」の研究室です。近年では災害の多様化、拡大化について注視されています。「地域」と一つとらえても都心周辺地域もあれば農山漁村と東北には様々な地域が存在し、魅力を持っています。そのため、それらの場を形成するコミュニティから人々の暮らしが重なりあうことで生まれる「景」に渡り、多様性を持ってミクロ・マクロの視点で地域防災に取り組むことが重要であると考えています。具体的には、主に避難行動、災害復興、地域景観についてフィールド調査を軸に地域と向き合いながら自主的に取り組んでいます。



学生へのメッセージ

はたけやま ゆうごう 温山 雄豪

安全安心生活デザイン学科 准教授

現在の社会の出来事に対する課題を発見し解決するには様々な分野の視点から検討していく必要

があります。「防災」と一つとらえても、直接的な避難行動からレジリエンスのある地域を更に成熟していくための地域らしさ、まちらしさという点からの景観面まで総合的に捉えなければいけません。そのためには、非常時の対応はもちろんのこと、普段の生活やくらしの中で風通しの良いまちを考えていくことが本来の地域防災を考えることにつながります。また、学生生活ではいかにメリハリよく活動することが大切と考えます。自ら課題をとらえ、自主的に研究に取り組むためには、関わってくださる方々に感謝と誠意を持って取り組むことが大切です。地域防災という分野を通してより良い「地域」とは何か、ミクロ・マクロの視点で一緒に取り組み考えていきましょう。



荒浜灯籠流し運営補助



研究室のメンバー



東北芸術工科大学合同ゼミ



田老地区ヒアリング調査

学生の声



ゆうき **結城 梨奈** ライフデザイン学研究科 デザイン工学専攻 畠山研究室 博士前期課程 1年

畠山研究室は、他の研究室に比べて学生の取り組むテーマが多岐にわたります。被災地域でのヒアリング調査や公共施設での避難訓練など、お互いの調査に協力し合うことで知見を広げられました。地域に関わる様々な疑問に真摯に向き合うことができる研究室です。私は卒業論文に引き続き、修士論文で「仙台らしい景観」について取り組んでいます。戦災や都市開発により歴史ある景観が変化・減少している仙台市において、地域らしい景観やそう感じる要因を研究しています。



古里 智美 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科 畠山研究室 4年

私は3年次後期より、「不特定多数が集まる複合施設の避難時の課題」について取り組んでいます。2011年の東日本大震災をきっかけに、不特定多数が集まる複合施設やホールの用途や計画、特徴を把握し、避難計画や避難行動を明らかにする研究を行っています。これまでは研究対象施設のせんだいメディアテークや、オリンパスホール八王子で行われた避難訓練に参加しました。研究室のメンバーや他学年の学生にも協力してもらいながら、研究を進めています。



大学 俊介

ライフデザイン学部
安全安心生活デザイン学科
畠山研究室 4年

私は3年次後期から仙台市若林区にある荒浜地区の震災復興について研究しています。具体的には荒浜地区に足を運びヒアリング調査をし、地域の方々や観光客の意見を参考にし、今後の荒浜地区の課題や改善点を明らかにすることを目的とします。畠山研究室では友達と協力して課題に立ち向かっていく人が多く在籍しているため、チームで行動する力は身に付く場所であり楽しい時間を過ごせると思います。

先生のホンネの

教室では語られない学生へ向けた先生のホンネを聞きました。

プログラミングの 定年は何歳?



tisht かずのぶ 村岡 一信

情報通信工学科 教授

巷ではプログラムが書けるのは若いうちだけで35歳位になると書けなくなるというプログラマ定年説があるようです。私はそれより30は歳を取っていますが、今でも教育や研究でプログラム(中には10,000行を越えるもの)をガリガリ書いています。この分野に進もうと考えている方は定年説など気にせず頑張ってください。ところで私の研究室では自然物・現象のCGについて研究をしていますが、毎年卒業する頃にはプログラミングが楽しくて仕方がないという私の仲間が増えています。さて、今年の彼らはどんなCGプログラムを作成してくれるでしょうか?

授業を楽しむには



穴澤 正宏

環境エネルギー学科 教授

よく授業は予習復習が大事といいますが、義務感だけだと気が進まないものです。こんなときは、次の授業を楽しむための作業だと思ってはどうだろう。単純なことで、授業が分かれば授業は楽しくなるのです。準備なく授業に臨めば余裕のないまま90分を過ごすことになります。楽しむどころではありません。しかし、前回の内容を復習してから臨めば理解度が格段に上がります。今日は先生に意地悪な質問をしてみようかと考える余裕も持てるでしょう。授業を楽しむ工夫は他にもいろいろ考えられますが、ぜひ毎日の授業を楽しんでください。

コアトリエ/ 孤アトリエ



大沼 正寛

安全安心生活デザイン学科 教授

マグロなど一部の回遊魚は、24時間泳ぎ続けないと窒息してしまうそうですね。3 大学共同研究「コアトリエ」(WEB検索ください)や、その後に開設した「生業景デザイン研究所」など、際限なく様々な研究、創作、地域活動に関わってしまう私は、よくマグロのようだといわれます。最近は自重しているっもりですが、まだ後遺症が抜けません。そこで、休憩くらいはと、研究室内にロフトのある木組みのミニエ房をつくりました。もちろん、学生が卒研に勤しむことを期待して、ですよ(でも私もたまに使うかも)。ちなみに私は、マグロよりもカツオが好きなのですが、カツオも24時間系だそうです・・・



村岡研究室(研修中)



卒業生のCGプログラム(オーロラと小鳥の群れ)



研究室でのセミナー



工大祭の研究室展示でのひとコマ



JSI-RISTEX多世代共創領域研究開発フロジェクト



______ 長町キャンパス2号館1階 大沼研究室間仕切りを兼ね た小工房

学部4年生·修士2年生対象学内合同企業説明会



松田 勝敬 就職委員会副委員長 情報通信工学科 准教授

今年も9月12日(木)の午後に、「令和元年度学部4年・修士2年活動継続者 対象学内合同企業説明会 | が開催されました。この時期の学内合同企業説明会 としては、昨年度と同様に長町キャンパスを会場としての開催となりました。長 町キャンパスでの実施は、今回で4回目となりました。採用活動を継続されてい る34社の企業に参加していただき、会場にはいずれも本学の学生採用の実績 がある企業のブースが並びました。学生が興味のある企業の担当の方と十分に お話をすることができる様に、企業のブースを学生が訪問する形で実施してい ます。

例年この説明会の参加者は内定までつながることが多く、本学の高い就職率 を支えるイベントのひとつとなっています。今後もこの様なイベントなどをとおし て、きめの細かい学生支援を実施、継続してまいります





インターンシップ



業界を知る

樽川 正勝 情報通信工学科 3年 企業名: 株式会社ミライト

私は10日間のインターンシップに参加し 通信建設に関する実習や見学をしました。 参加する前は、この業界についてほとんど 知りませんでした。イメージとしては主に工 事を行う仕事が多いと思っていましたが、 実際は多岐にわたる分野を受け持ってお り、多くの経験ができる職場だと感じまし た。他にも計員の方々の仲が良く、楽しそう に働かれている姿が印象に残りました。

今回は通信建設業界の仕事内容を知り、 どのような職場かを知ることが目的でした が、それだけではなく今後の就職活動でどう するべきか気づかされたとても有意義な時 間でした。





仕事をする 安全安心生活デザイン学科 2年 企業名: 株式会社ロゴスホーム

主に住宅や公共施設などの設計を行って いる企業へのインターンシップに参加し、 実際の仕事の流れや、設計するにあたって 気をつけなければならない点などを学びま した。その中で特に印象に残ったのは「家 を購入するということは、ほとんどの人に とっては一生に一度の買い物。そのため、一 度でお客様に満足してもらえるような住宅 を設計することが目標 | という社員の方の お話しです。この経験から、住宅設計の技 術的な面はもちろん、設計するうえで何を 考え、何を大切にすべきかという内面の重 要性にも気づくことができました。



スケジュール

実 施 日	内容
5月24日(金)・29日(水)	インターンシップ 説明会
6月中旬~6月下旬	マッチング
7月下旬	事前研修
夏季休業期間	インターンシップ 実施
9月18日(水)・10月4日(金)	報告会

参加人数(令和元年度)			1	単位	:人)
工学部	1年生	2年生	3年生	4年生	M1
電気電子工学科			7		1
情報通信工学科			10		
建築学科	6		17		
都市マネジメント学科			14		
環境エネルギー学科			5		
合計	6	0	53	0	1

ライフデザイン学科	1年生	2年生	3年生	4年生	M1
クリエイティブデザイン学科			4		
安全安心生活デザイン学科		4			
経営コミュニケーション学科			1		
合計	0	4	5	0	0

※本学窓口を通したインターンシップ参加人数

地域連携センター・研究支援センターだより

■七夕まつりへの参加

今年の七夕まつりは、例年制作している本学公認団体「たまご くらぶ」を中心とした学生有志と、建築学科の学生有志による2 つの七夕飾りを制作し、サンモールー番町のアーケードに設置し

南側入口の七夕飾りは、「たまごくらぶ」の学生を中心に、デ ザイン案・コンセプトをまとめ制作し、「令和カラー」といわれる 梅・菫・桜をイメージしたグラデーションタイプのもの。「今野不 動産一番町店」前の七夕飾りは、今野不動産様とのコラボレー ションという形で制作し、両者の口ゴを取り入れ、建築模型を吹 き流しにつけた、新鮮味のあるものとなりました。どちらの七夕 飾りも、見ていただいた方からご好評をいただきました。

来年度も、地域に関わる事業として引き続き参加したいと思い ます。



令和カラーの七夕の前で記念撮影



今野不動産とコラボした七夕

■イノベーションジャパン2019 出展報告

8月29日(木)・30日(金)に東京ビックサイトで開催された 「イノベーションジャパン2019 ~大学見本市&ビジネスマッ チング~」に、工学部 電気電子工学科 丸山 次人研究室から [足 の不自由な方の歩行訓練を楽しくさせる歩行車」を、工学部 環 境エネルギー学科 丸尾 容子研究室から、「ナノ多孔体分析チッ プを用いた呼気分析による健康管理」を出展しました。

丸山研究室ブースでは、歩行訓練の訓練度合を楽しく見せる 装置を実演しました。丸尾研究室ブースでは、自宅でも手軽に病 気の診断につながる測定が可能という点が評価され、多くの来 場者の関心を集めました。両研究室ともに、研究成果に多くの 来場者から問合せを頂きました。

本展示会では、丸山・丸尾両研究室の学生各2名も参加し研 究成果の説明・実演を行いました。学生にとって、産学連携の場 を体験する貴重な機会となり、充実した2日間となりました。今 後も、収集した来場者の声を卒業研究に活かしていきたいとの ことでした。

地域連携センターでは例年、本展示会の出展支援を行っており ます。次年度も多くの研究室からの出展をお待ちしております。

戦争 丸山教授と研究室の学生



丸尾教授と研究室の学生

■復興大学県民講座 盛況で終了しました

復興大学県民講座は、台風19号の影響で日程を変更し、11月 23日(土)に最終日を迎えました。今年度は、6科目34講座を開 講し、延べ1,233名に受講いただきました。また現場実習は、女 川・東松島、荒浜・閖上、気仙沼の3コースを企画し、合計94名に ご参加いただきました。講座では、大学教員だけではなく、メディ アとして震災に携わった方、実際に被災地での活動に従事されて いる方にも講義いただき、これまで以上に幅広い講座を展開しま した。現場実習では、初めて気仙沼を取り上げて実施し、これまで と少し違った視点で復興について学ぶ機会となりました。

「復興大学」事業は2020年度で終了となりますが、引き続き、 復興というキーワードと向き合い事業を展開してまいります。



現場実習の様子(気仙沼・伝承館にて)



県民講座の様子

■東北工業大学 岩手県円卓会議を開催しました

8月26日(月)、ホテルブランニュー北上において「東北工業 大学岩手県円卓会議〜持続可能な東北を目指して〜」を開催しま した。前半は現在取り組んでいる研究事例の講演・話題提供と して、環境エネルギー学科 丸尾 容子 教授から「呼気で病気を 早期発見する~ 自分で行う健康管理を目指して~」、建築学科 中村 琢巳 講師から「歴史的建造物と震災復興について」の講演 がありました。後半は、東北工業大学同窓会北上支部から4名の 方がご登壇され、「岩手から工大に期待したいこと」をテーマに、 企業紹介、岩手県で活躍できる人物像の育成についてなどを中心 に意見・提案をしていただきました。参加しました先生方からも 活発な意見があり、充実した公開情報交換会になりました。



こんの ひむ 今野 弘 学長による開会のあいさつ



カヒメピ ぴ゚ロワ゚ 渡邉 浩文副学長による「岩手から工大に



会場からの質問、意見等 うえすぎ なおし 上杉 直 シニアアドバイザー



円卓会議の様子

■東北工業大学プロジェクト研究所キックオフ発表会を開催しました

持続可能な東北の未来をつく る『東北SDGs研究実践拠点』 と題し、東北工業大学プロジェ クト研究所キックオフ発表会を 9月20日(金) 江陽グランドホテ ルで開催し、本学関係者ならび に企業・産業支援機関等含め約 研究実践拠点について説明をする 130名の参加がありました。本



がなべ ひろのり 渡邉 浩文 副学長

学 今野 弘 学長より開会の挨拶がなされ、みやぎ産業振興機 構 理事長 若生 正博 氏より祝辞が述べられました。「東北工業 大学の研究実践拠点」について、渡邉 浩文 副学長より研究実践 拠点の形成及びプロジェクト研究所設置の経緯や事業概要、取り 組み、今後の展望・計画などの説明がなされました。本学は、引き 続き世界共通の取り組み「SDGs」に賛同し、東北SDGs研究事 業・実践活動の活性化に皆さまとともに取り組んでいきます。

東北工業大学 プロジェクト研究所 一覧

研究所名称		研究所長(所属学科)
制振工学研究所	薛松濤	(建築学科 教授)
生体医工学研究所	小林正樹	(電気電子工学科 教授)
マーケティングサポート研究所	佐藤飛鳥	(経営コミュニケーション学科准教授)
ICT システム研究所	工藤栄亮	(情報通信工学科 教授)
プレアデザイン研究所	武山倫	(安全安心生活デザイン学科教授)
AiR 研究所	鈴木郁郎	(電気電子工学科 准教授)
Well-Being 研究所	金井辰郎	(経営コミュニケーション学科 教授)
地域のくらし共創デザイン研究所	伊藤美由紀	(安全安心生活デザイン学科 准教授)
東北産業デザイン研究所	坂手勇次	(クリエイティブデザイン学科教授)
生業景デザイン研究所	大沼正寛	(安全安心生活デザイン学科教授)
北欧デザイン研究所	石井敏	(建築学科 教授)

■令和元年度 学内公募研究 研究テーマー覧

実用化型

大川山王	
研究テーマ名	研究代表者(所属学科)
高効率・低コストを両立する環境発電デバイスの研究開発	内野俊 (電気電子工学科 教授)
睡眠呼吸障害スクリーニング検査のた めのウェアラブル呼吸センサの開発	辛島彰洋 (電気電子工学科 准教授)
人工衛星による電場観測データの評価 に関する研究	中川朋子 (情報通信工学科 教授)
緊急速報統合情報処理システムの	松田勝敬
研究・開発	(情報通信工学科 准教授)
自然エネルギーを活用した放射パネル	許雷
の開発	(建築学科 准教授)
点検データを活用したインフラストラ	須藤敦史
クチャーの維持管理に関する研究	(都市マネジメント学科 教授)
人工湿地を用いた高塩分最終処分場浸	中山正与
出水処理法の実用化	(都市マネジメント学科 教授)
観光客の流動把握システムの開発	泊尚志 (都市マネジメント学科 准教授)
熱と電力間の相互変換に基づく光電デバイスの各種	齋藤輝文
効率測定と太陽電池融雪等への応用に関する研究	(環境エネルギー学科 教授)
省エネ住宅のラベリングツールの開発	武山倫
(気密性能)	(安全安心生活デザイン学科 教授)

地域連携型

研究テーマ名	研究代表者 (所属学科)
AI 技術を用いた産学連携	鈴木郁郎 (電気電子工学科 准教授)
宮城県内の震災遺構の保存状況と地域の 記憶継承	福屋粧子 (建築学科 准教授)
城下町登米まるごと建築博物館プロ ジェクト	中村琢巳 (建築学科 講師)
道の駅の役割開発による地域・産業活性化と、地域課題・ニーズ対応	佐藤飛鳥 (経営コミュニケーション学科 准教授)

萌芽型

研究テーマ名	研究代表者(所属学科)
多脚クローラ型ロボットによる学習と	藤田豊己
注視機能に基づく自律作業動作制御の研究	(電気電子工学科 教授)
人工知能による補助機能を有する	水野文雄
ヒト視覚拡張システムに関する研究	(電気電子工学科 准教授)
波長 0.7μm 帯医用高安定サブナノ	佐藤篤
秒パルスレーザーの研究	(情報通信工学科 准教授)
映画データからのマルチモーダル 対話分析コーパスの構築	井上雅史(情報通信工学科 准教授)
人工知能を用いた振動制御に関する 研究	曹淼 (建築学科 講師)
現代社会における幸福・豊かさ・価値	二瀬由理
一世代間差異に注目して一	(経営コミュニケーション学科 准教授)
老若男女の健康を考えよう〜生活習慣病	多田美香
リスクを正しく評価するための研究〜	(共通教育センター 准教授)

発展型

研究テーマ名	研究代表者 (所属学科)
暑熱化する都市の将来気候予測と適応策	渡邉浩文 (建築学科 教授)
特別養護老人ホームの建て替えに伴う環境移行を	石井敏
通した認知症のための環境要素抽出に関する研究	(建築学科 教授)
森林土壌への塩基性物質の供給が炭素	佐野哲也
貯留量に及ぼす影響	(環境エネルギー学科 准教授)
生業景の実践課題抽出・みやぎルーラ	大沼正寛
ルヘリテージの活用保全	(安全安心生活デザイン学科 教授)

令和元年度の東北工業大学奨学生は、規程改定に伴い、『学業奨励奨学金』と『課外活動奨励奨学金』の2種類に分け表彰し、奨学金を支給いたしました。学業最優秀奨学生8名、学業優秀奨学生18名、学業一般奨学生168名、課外活動優秀奨学生2名、課外活動一般奨学生12名、大学院奨学生7名が奨学生として決定いたしました。(学部生、大学院生合わせて213名)

学業最優秀奨学生(各学科1名)は当該年度の授業料相当額、学業優秀奨学生は授業料の1/2相当額、学業一般奨学生は年額120,000円が支給されます。課外活動優秀奨学生(3名以内)は授業料1/3相当額、課外活動一般奨学生は年額120,000円が支給されます。大学院奨学生は年額240,000円が支給されます。選考人数は、各学科の学生数に概ね比例していますが、課外活動奨励奨学金は学科枠にこだわらずに選考されました。

【学業奨励奨学金】

○学業最優秀奨学生(8名)

電気電子工学科

3年 小野寺 碧

環境エネルギー学科

4年 加藤 諒

情報通信工学科

2年 横山 未有

クリエイティブデザイン学科

2年 大沼 紗采

建築学科

4年 髙橋 響

安全安心生活デザイン学科

2年 山田 尋登

都市マネジメント学科

4年 尾崎 文香

経営コミュニケーション学科

4年 武田 莉奈

○学業優秀奨学生(18名)

電気電子工学科

4年 小川 和敏

2年 佐々田 一歩

情報通信工学科

4年 遠藤 輝人 3年 高橋 萩斗

2年 叶内 蒼空

建築学科

 3年
 鈴木
 麻裕

 3年
 渡邊
 秋音

2年 佐藤 豪大

都市マネジメント学科

3年 浦島 永遠

2年 瀬畠 研也

環境エネルギー学科

3年 稲場 真滉

2年 密岡 翔

クリエイティブデザイン学科

 4年
 二瓶
 一真

 3年
 丹野
 夕佳

安全安心生活デザイン学科

 4年
 紺野
 仁希

 3年
 大野
 紫音

経営コミュニケーション学科

3年 早坂 京 2年 宍戸 雅美

○学業一般奨学生(168名)

電気電子工学科

4年 今野 颯 3年 樋口 和真 4年 佐藤 裕介 3年 日名 晴輝 4年佐藤 渉 3年三浦 嫯 4年 髙橋 晴稀 3年加藤 紬 4年 庭 滉詩郎 3年 齋藤 咲椰 4年 宮崎 大輝 3年 奈良岡 伶 4年 小川 善嵩 3年室岡 晴貴 4年 木村 冬威 2年 及川 拓巳 4年成澤 大翼 2年安倍 3年 佐々木 飛翔 2年 及川 大輔 3年 笹森 拓夢 2年 百田 善期 3年 早坂 吏功 2年 山田 進太郎

情報通信工学科

4年會田 純人 3年 坂本 陸 4年 青田 千咲 3年 小田 拓人 4年 市橋 悠人 3年 五嶋 大暉 4年 佐藤 一義 3年 今野 遥貴 英希 3年 佐藤 文帥 4年高橋 4年 千葉 麟太 2年青山 翔龍 4年 阿部 博斗 2年 小笠原 瑳恵 4年 植野 卓 2年 2米田 悠晶 4年大友 開 2年 佐藤 宏輝 4年 川村 周平 2年 佐野 海斗 4年 佐藤 祐幸 2年 千葉 海斗 4年猿田 陸 2年 小山 雄吾 4年千葉 翔也 2年太宰 3年 朝倉 優樹 2年 芳賀 雄大

建築学科

4年 浅野 起基 3年 森越 美咲 4年 志田 健也 2年大畑 4年 鈴木 楓由 2年 木藤 優弥 4年成田 佳織 2年黒田 廉 4年 内沢 千尋 2年 黒羽 巧真 大河 2年 佐藤 大晟 4年木村 4年 杉本 真菜 2年 平賀 萌絵 4年高橋 大都 2年 我妻 愛香 4年三浦 真梨 2年渡辺 澪 3年阿部 健人 2年 及川 龍人 3年 荻原 拓真 2年 鎌田 勝大 3年高森 秀真 2年 西城 瑞樹 3年中沢 奈菜 2年本山 大瑚 3年岩渕 明志人 2年渡邊 修太朗 3年 竹内 友佐

都市マネジメント学科

4年岩間 大輔 3年松浦 曲 優治 2年 小野寺 淳 4年鈴木 4年 滝沢 晃平 2年 小野寺 春斗 4年 岡部 晃之 2年鎌田 優 3年 佐藤 伶奏 2年 佐々木 花菜 3年濱野 晃輔 2年 石垣 佑樹 3年良原 東栄 2年 伊藤 優太 3年 阿部 正暢 2年 竹花 侑恭 3年 佐藤 魁人 2年 爲永 和希 3年幕田 智淳 2年森 健登

環境エネルギー学科

4年 鈴木 直仁 3年 管野 那美 4年 髙橋 脩 3年 渡部 聡大 4年 伊藤 幸大 2年 阿部 遥也 4年 河村 直人 2年 鈴木 彩加 4年 沼田 佳大 2年 杉山 大河 3年 佐藤 優妃 2年 髙橋 里奈 3年 市川 悠斗

クリエイティブデザイン学科

4年 斎藤 直也 3年 佐々木 優衣 4年 佐々木 直央 2年 伊藤 優花子 2年 小野寺 春希 4年千田 新 4年 倉金 奈菜 2年齊藤 礼奈 4年 田畑 育実 2年 菊池 茜 3年 樫本 莉歩 2年 今野 七海 3年 松田 愛海 2年 斎藤 夏輝 3年 遠藤 妙 2年 給木 聖佳 3年遠藤 颯 2年吉田 竜基

安全安心生活デザイン学科

4年 大村 琴里 2年 =澤 紀代子 4年 佐藤 理奈 2年吉田 陽菜子 3年 佐藤 由理 2年 淺田 菜月 3年 佐々木 菜穂 2年 菅戸 千尋 2年 大山 藍花 2年 佐藤 綾夏 2年 草野 まい 2年 高橋 亜美 2年 栗本 翠来 2年三浦 七海 2年志田 遼也 2年吉田 桐 2年 志村 みさと 2年 渡部 栞奈

経営コミュニケーション学科

4年 阿部 晃大 4年 渡辺 未来 4年 稲毛 啓太 3年 坂口 志穂 3年西塚 4年大内 星汰 4年大沼 詩奈 3年 高田 柊佑 4年 大宮 稚賀 3年 東海林 巧 奈摘 3年 渡邊 友理 4年 菅木 4年鈴木 麻美 2年 三上 翔斗 4年 関川 咲紀 2年 庄子 龍一 4年 千葉 有紗 2年 髙橋 莉子

【課外活動奨励奨学金】

○課外活動優秀奨学生(2名)

都市マネジメント学科

古里 恭兵

平成30年度宮城県民体育大会ボクシング競技会 成年バンタム級 第1位東北総合体育大会選出)、 日本ボクシングコミッションプロテスト(C級)

○課外活動一般奨学生(12名)

情報通信工学科

4年 久保 京太

平成30年度仙台六大学野球春季リーグ戦 ベストナイン(外野手)

建築学科

3年 兼子 太希

第69回東北地区大学体育大会陸上競技大会 走高跳 第8位

クリエイティブデザイン学科

渡部 将隆

国民体育大会宮城県選手団選出 (フェンシング)

佐藤 寿樹

情報通信工学科

遠藤 輝人

中村 麗

ブレイン-コンピュータ・インタフェース プログラミングコンテス

Brain-Computer Interface Hackathon at IEEE SMC 2018 (1st Brain Prize IEEE Brain Prize)

平成30年度東北地区大学体育大会 水泳の部

安全安心生活デザイン学科

4年

2年

建築学科

平成30年度仙台六大学野球 春季リーグ戦 敢闘賞

男子200M個人メドレー第6位

安全安心生活デザイン学科

佐藤 洸雅

平成30年度仙台六大学野球春季リーグ戦 最優秀投手賞

情報通信工学科

4年 平間 圭悟

平成30年度東北地区大学体育大会 水泳の部 男子200M平泳ぎ第8位

都市マネジメント学科

尾崎 文香

国民体育大会宮城県代表団選出 (弓道)

安全安心生活デザイン学科

後藤 裕弥

平成30年度仙台六大学野球 秋季リーグ戦 優秀新人賞

情報通信工学科

3年 武内 涼真

第43回東北地区大学サッカーリーグ兼第67回 全日本大学サッカー選手権大会東北地区予選 2部8 アシストランキング 第1位

クリエイティブデザイン学科

佐々木 恵太郎 JAGDA学生グランプリ2018 優秀賞

安全安心生活デザイン学科

佐藤 汰一

第22回東北学生弓道新人戦 個人第3位

【大学院奨学生(7名)】

電子工学専攻博士(前期)2年 石橋 勇人

土木工学専攻博士(前期)2年 村山 拓

通信工学専攻博士(前期)2年 銭谷 英李

環境情報工学専攻博士(前期)2年

浅沼 光吾

建築学専攻博士(前期)2年

青柳 樹

デザイン工学専攻博士(前期)2年

阿部 正

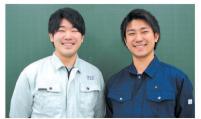
建築学専攻博士(前期)2年

林 瑞紀

トピックス

◆建築学科3年生2名が学校インターンシップを体験、今年度から実施

宮城県教育委員会は今年度から、出身校での就業体験(学校インターンシップ)を始めま した。教育実習では授業準備等に追われ、学習指導以外の教員の業務に携わることが少な いことから、幅広く教員の業務や学校現場を体験するというものです。本学からは、9月2 日(月)から6日(金)までの5日間、建築学科3年生の守良規さんと笠原義樹さんがそれ ぞれ母校の石巻工業高校と古川工業高校へ行ってきました。本人たちは、「大変良い体験を し、勉強になった」と話していましたし、学校での評判も二人とも上々でした。



実習着姿の守良規さんと笠原義樹さん

◆チェコからの研究員が小出研究室にて研修

工学部都市マネジメント学科 小出 英夫 教授

10月7日、チェコ共和国ブルノエ科大学助手のPetr MIARKAさんが、チェコ科学アカデ ミーの支援を受け、都市マネジメント学科小出研究室での約3週間の研修を開始しました。 これは私とブルノ工科大学及びチェコ科学アカデミーとの3年前からの交流の一環で、研 修ではコンクリート実験や講演を行ってもらいました。また、学生・院生との交流、日本食 への挑戦、温泉体験もしました。なお、MIARKAさんから、「このような機会を得て皆さん に感謝しています。アニメや映画でしか知らなかった日本をとても良く知ることができまし た。」とのメセージがありました。



トの共同実験の様子



小出研究室学生との交流の様子

安全安心生活デザイン学科 伊藤 美由紀 准教授 がご紹介



安全安心生活デザイン学科 中井 周作 講師



メリハリを持って学ぶ姿勢を伝授する兄貴的な存在

中井 周作先生は、2015年に本学安全安心生活デザイン学科に着任される以前から、交通 心理学や社会心理学に関する授業や研究に御尽力いただいていました。先生は土木工学を 基礎とした交通行動学や社会心理学を担当され、高齢者の交通安全教育、震災時の避難移 動手段選択に関する研究、交通行動分析などの研究をされています。

生活デザインを学ぶ学生に対し、社会に潜在している問題を調査より明らかにする力、社会心 理学を用いたアプローチよりその問題の解決策を探る力、そして、より安全で安心で快適な生活 を営める社会のあり方を提案する力を身につけられるよう、一人ひとりの成長を支えています。

中井先生は、とても気さくで面倒見がよく、奈良弁の独特のしゃべりと優しい雰囲気から、 教員室は常に学生で賑わっています。研究室では、学生の興味を持ったテーマとその背景に ある社会問題を結びつけ、主体的にメリハリを持って研究に取り組むように「兄貴」的な存在 で束ねています。



topics

本学共催の

第14回「秋の八木山フェスタ」を開催

本学共催の「第14回秋の八木山フェスタ」を11月2日(土)に開催 しました。

八木山動物公園てつぺん広場で行われ開会式後のポスターコン クール表彰式では、本学今野 弘 学長が、受賞者に表彰状と記念品の 授与を行いました。天候にも恵まれ、本学イベント会場である八木山 市民センターには多くの家族連れが訪れ、八木山ベニーランドでは、 本学チアリーダー部と吹奏楽部がそれぞれパフォーマンスと演奏を 行いました。また、今年は、例年のイベントに加え、技術支援センター 職員による、「こどものための実験・ものづくり教室」、ダンスサークル 部による「ダンス」の新規イベントが加わり、例年よりも多くの方々に ご来場いただくことができました。









column

袋地 知恵 ウェルネスセンター カウンセラー

「リフレーミング」

「目の前のコップに半分水が入っている 時、あなたは"もう半分しかない"と思います



か?あるいは"まだ半分ある"と思いますか?」普段、面接 の中でこんな質問をすることがあります。これはどちらか一 方の答えが正解というわけではありません。物の見方によ り捉え方が変わるという意味において、それぞれの考え方 が反映しやすいため、その人の考え方を知るために聞いて みるのです。この例えで言うと、"もう半分しかない"と思い 焦ってしまうという人もいるかもしれませんが、だからこそ 残りを大切にするという人もいるでしょう。また"まだ半分 ある"と思って、気持ちにゆとりが生まれるという人もいる はずです。

このように、1つの見方に捉われず違った見方をするこ とを心理学用語で「リフレーミング」と言います。物事を認識 する枠組み(フレーム)を変えるという意味で、そうすること で現状を見直すことにつながることがあります。普段の生 活の中でも、ほんの少し見方を変えるだけで気持ちに変化 があったり、何かしらの気付きが得られたりすることがある と思いますので、時にはこんな考え方を取り入れてみてはい かがでしょうか。

これからの主な行事予定(2019年度)

2019年

12_月

• 7日(土)

後期補講日② 23日(月) 冬季休業開始 (~1/3(金)まで)

2020年

●21日(火)

定期試験時間割発表 ● 28日(火) 後期授業終了

• 29日(水)

後期定期試験① 後期定期試験② 後期定期試験③

• 30日(木) ●31日(金)

> 後期成績発表 / 追再試験時間割発表

本誌に関するご意見・ご感想を お待ちしております。

〒982-8577 宮城県仙台市太白区 八木山香澄町35-1 東北工業大学 入試広報課 TEL:022-305-3144

FAX: 022-228-1813 E-mail: kohositu@tohtech.ac.jp

• 17日(月)